

ふれあい

(2022年) 令和4年12月



緑鯨城会QRコード



本会は、会員相互の親睦を図り、かつ、生涯学習の一環としての学習活動を推進するとともに、地域活動に貢献することを目的とする

発行 | 名古屋市高年大学鯨城会 緑鯨城会
名古屋市高年大学鯨城学園
編集 | 緑鯨城会 広報委員会

目 次

表紙	1
目次	2
鯨城会会長 令和4年度「27回趣味の作品展」に思う	3
絵画部門	4
書道部門・陶芸部門	7
写真部門	8
写真部門 短歌・俳句・川柳部門	9
短歌・俳句・川柳部門	10
工芸部門	11
パソコン作品	12
絵手紙・絞り染め	13
鶴舞公園クリーンキャンペーン・ボウリング大会	14
鯨城会講演会・区民まつり	15
鯨城会グランドゴルフ大会・堀川清掃大作戦	16
地域ミーティング・16区フェスティバル	17
自由投稿 俳句つれづれ(5)	18
同好会だより ウォーキング同好会の報告と予定	19
編集後記	20

ふれあい86号(令和5年3月発行)原稿募集のお知らせ

テーマ：問いません(自由です)短歌・俳句・川柳含む

字数：450文字程度 短歌・俳句・川柳は2首迄

締め切り：令和5年2月末日

申し込み先：広報委員に電話、SNS、メールで

表紙の写真

「カップコレクション」タペストリー23期 文化A 花井 照子

寸法 縦225cm ×横195cm

コロナ禍での、お家時間、布整理の副産物、思いがけない作品です。布のコレクションがコーヒーカップに。

令和4年度「27回趣味の作品展」に思う

緑鯨城会会長 高野 孝

コロナ第8波到来が囁かれる今日この頃 会員の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。
さて、お陰様で、10月22日、23日の両日 3年ぶりに、緑区役所講堂で緑区民まつり協賛事業として「趣味の作品展」を開催できた事 関係各位並びに作品出展、ご来場いただきました会員の皆様に 深く感謝申し上げます。

3年前の24回作品展と比較いたしますと出展数、来場者数ともに減少いたしました。会員数も312名から225名に減少していますので、ある程度納得の実績となったと思います。

出展数の分析においても会員90点、一般76点の出展となり、バランスの取れた出展であったと思いますが、来場者数、特に一般来場者増の伸びしろは、まだまだ十分ありますので、来季以降の「作品展開催PR活動」の課題といたします。

より多くの会員、緑区一般の皆様にも、作品を「作る楽しさ」「出展できる喜び」「鑑賞して感動が生まれる」こだわりの無い「趣味の作品展」を目標に活動してゆきたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくおねがいします。

令和4年度出展数の分析

特別出展とは、共同募金ポスターと書道を示す

	絵画	陶芸	絵手紙	写真	俳句 短歌	パン コン	工芸	絞染	書道	甲冑	特別 出展	小計
会 員	24	7	1	12	17	7	10	9	3	0	0	90
一 般	8	17	23	1	0	0	11	11	1	4	0	76
在校生	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
特別出展	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
	32	24	24	13	17	9	21	20	5	4	20	189

出展数・来場者数の推移

	令和元年24回	令和2年25回	令和3年26回	令和4年27回
作品展会場	緑区役所講堂	中止	名古屋市博物館	緑区役所講堂
出展数(点)	230	中止	104	189
来場者数(人)	450	中止	501	355
緑鯨城会会員数(人)	312	301	263	225

ONE
TEAM



絵画



上高地
32期 国際A 北山 みね子



長谷寺
32期 国際A 北山 みね子



三寺まいり (飛騨古川町)
31期 国際B 高野 孝



春の息吹 (長野県白馬村)
31期 国際B 高野 孝



農業センター
25期 美術 小田島 五郎



誕生釈迦仏
25期 美術 小田島 五郎



飾り馬
30期 美術 樋野 節子



孫
30期 美術 樋野 節子



晩夏
22期 福祉 渋谷 敬子

絵画



花遊び
22期 福祉 渋谷 敬子



京都嵐山の紅葉
21期 健康 寺澤 章博



習作
21期 健康 寺澤 章博



八事興正寺
25期 福祉 伊藤 敏子



二十歳の彩
25期 福祉 伊藤 敏子



窓辺の花 II
25期 美術 市川 容子



仕事の終わり
29期 文化B 水谷 敏夫



フィレンツェのアルノ川に架かる橋
25期 環境 吉川 圓市



童子
29期 美術 森山 千恵子

絵画



尖塔のある風景
30期 美術 松山 泰雄



並木道
30期 美術 松山 泰雄



夕涼み
22期 陶芸 市川 滋



出陣
22期 陶芸 市川 滋



滝
21期 陶芸 柏原 秀一



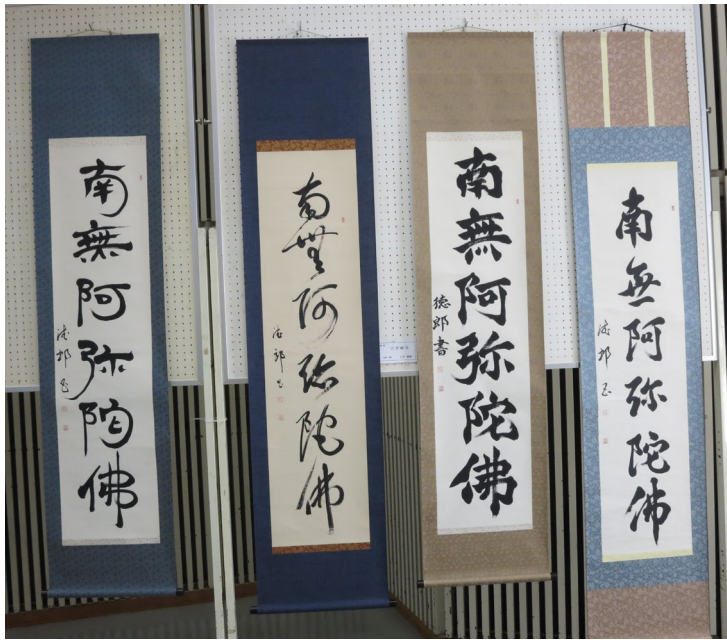
エビ草
31期 園芸 右高 茂夫



ケーブルテレビで取材を受けました



書道



楽
27期 国際 大塚 祥子

象
27期 国際 大塚 祥子

六字妙号
19期 美術 土井 徳郎

陶芸



桜透菓子鉢 梅絵手付鉢 椿絵平
23期 地域 小玉 正氣

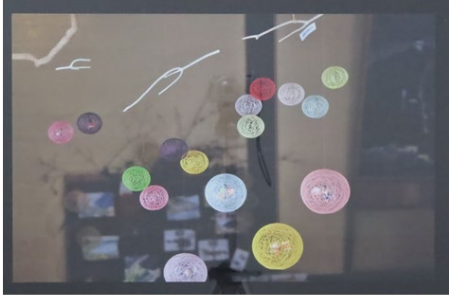


皿 花器
21期 陶芸 柏原 秀一



花器 絵皿
22期 陶芸 市川 滋

写真



風雅

22期 生活A 鈴木 順子



湖畔の夕暮れ

22期 生活A 鈴木 順子



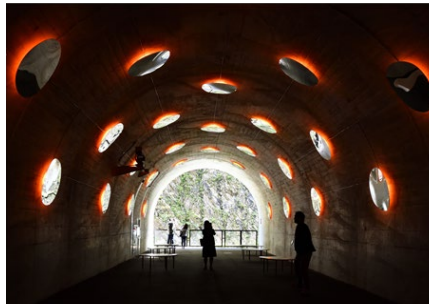
AfternoonTea

23期 環境 山田 恵美子



絶景-1

26期 健康 伊藤 靖子



絶景-2

26期 健康 伊藤 靖子



甚平

29期 生活A 本多 和彦



雅

30期 地域B 渋谷 稔



涼

30期 地域B 渋谷 稔



下呂の春-1

30期 地域A 福田 聖太郎

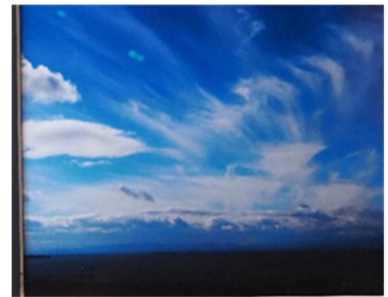
写真



下呂の春-2
30期 地域A 福田 聖太郎

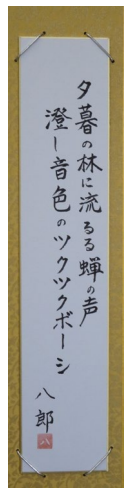
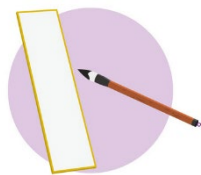


スペイン村の雲
18期 環境 大村 忠

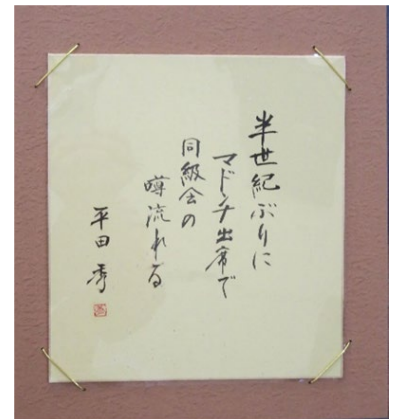
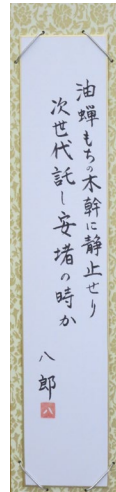


神島海上の雲
18期 環境 大村 忠

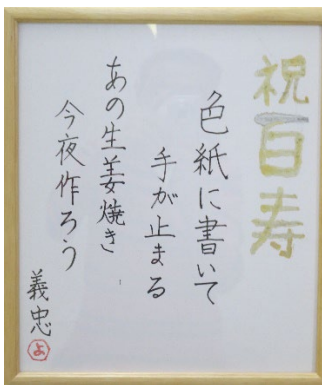
短歌・俳句・川柳



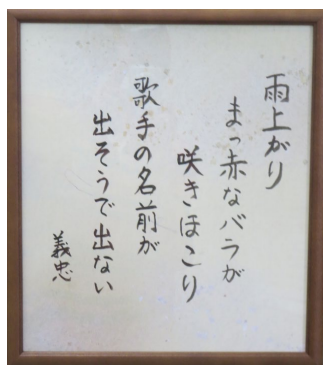
短歌 法師蟬 油蟬
29期 文化A 熊田 八郎



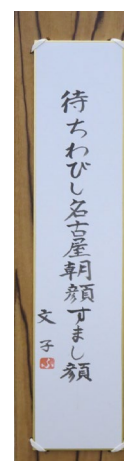
短歌
30期 文化A 平田 秀



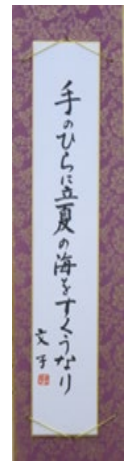
短歌
32期 文化A 廣瀬 義忠



短歌
32期 文化A 廣瀬 義忠



俳句
30期 文化B 阪 文子



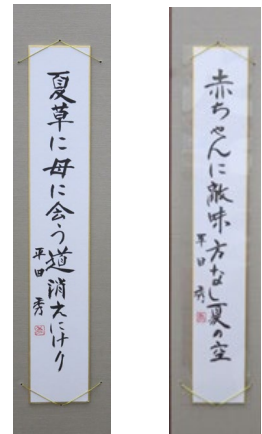
短歌・俳句・川柳



俳句 忍
29期 文化A 熊田 八郎



俳句 万緑
29期 文化A 熊田八郎



俳句
30期 文化A 平田 秀



俳句
31期 園芸 山田 正明



俳句
31期 園芸 山田 正明



川柳
27期 国際 磯部 勝



川柳
27期 国際 磯部 勝



川柳
30期 文化A 平田 秀



甲冑

工芸



タペストリー カップコレクション
23期 文化A 花井 照子



刺繍 窓辺にも花
23期 文化A 花井 照子



パッチワーク 北軽井沢高原の夏
27期 文化A 杉山 千代



パッチワーク 春の農村風景
27期 文化A 杉山 千代



スタンドグラス 衝立
28期 国際 阿部 花井



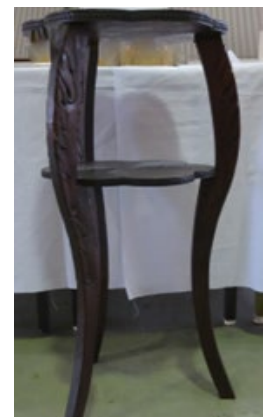
スタンドグラス ランプシェード
28期 国際 阿部 花井



ビーズ ネックレスI
29期 生活A 遠藤 ハツエ



ビーズ ネックレスII
29期 生活A 遠藤 ハツエ



木彫り 花台
32期 国際A 北山 みね子

工芸



木彫り 花籠
32期 国際 A 北山 みね子

パソコン作品



パソコン作品 鶴が沢東公園の空
27期 国際 磯部 勝



パソコン作品 扇川公園の夕日
27期 国際 磯部 勝



パソコン作品 七福神
29期 生活 A 伊藤 吉雄



パソコン作品 なつぞら
29期 生活 A 伊藤 吉雄



パソコン作品 棚田
29期 美術 森山千恵子



パソコン作品 秋の風景
31期 生活 A 奥野幸泰



パソコン作品 平和の祈り
31期 生活 A 奥野幸泰



絵手紙



絵手紙
30期 文化B 阪 文子

絞り染め



絞り染め タペストリー エプロン
28期 生活A 池内 ふく美



絞り染め タペストリー 亀甲
33期 健康A 森田 登美子



絞り染め 25期 福祉 橋本 幸子
25期 福祉 伊藤 敏子



 緑鯨城会

第27回 令和4年

緑区区民まつり協賛事業

趣味の作品展

ボウリング大会

行事委員会&ボウリング同好会

9月9日会員同士の交流を深めることを目的としてボウリング大会を開催しました。

場所：ラウンドワン鳴海店 参加者：17名

競技内容：2ゲーム制とし、ハンディキャップありとしました。

その他：ボウリング場の予約、開会セレモニー、成績表の準備などはボウリング同好会の磯部会長にお手伝いいただきました。

10年、20年以上ボウリングをやってない人が多く参加し、最初は昔のイメージで投球するが、思うように投げれない感じから徐々に慣れてきて、スペヤ、ストライクがでると拍手やハイタッチして和やかになってきました。会員同士の交流の目的は果たせました。



鶴舞公園クリーンキャンペーン

ボランティア委員会

10月1日(土)鶴舞公園クリーンキャンペーンが3年振りに行われました。例年とは異なり新型コロナウイルス感染防止対策として、密を避けるため集合場所を4ブロックに分ける。ビニール手の着用、マスクの着用などでした。

緑鯨城会の清掃区域はCブロックでした。集合場所は緑化センター前にのぼり旗を立て目印としました。鯨城会会員は12名、高年大学鯨城学園の34期生11名、37期生12名の計35名が旗の下に集合しました。学生の方は初めて見る方も沢山いたとおもいますが同じクラス、同じクラブなど見知った方同士で連れ立って清掃に回っていました。

各自は収集ごみを小袋(10L)に入れて、終了後に集合した場所で小袋から大きなごみ袋(45L)に纏めた。4ブロック全体で可燃ごみ袋(45L)34袋、不燃ごみ袋(45L)4袋でした。各区の鯨城会会員と同じ区の高年大学鯨城学園の学生が共同で清掃作業できた事は大きな成果ではないかと思っています。



鯨城会講演会～林与一さんを迎えて～ 期別委員長 杉崎 四郎（32期 国際B）

10月18日午後1時30分から鯨城ホールにて開催されました講演会を受講しました。

まずは驚いたのは、来春81歳になると言うのに、しなやかな踊りと動作は全く衰えを見せない。後で言われたのは役者として見て貰う人に絶対に衰えたとの感触を持たせないという役者根性と聞いてさすがと思ひ、その事に対する日々の鍛錬をどんな事が有ろうとも欠かせないという強い意志には敬服するばかりです。

東映時代の昔話の中で、有名な時代劇スターの名前が次々と語られ、子供の頃に、母に連れられてよく行った街の古びた映画館で観た時代劇映画を思い出し、ほのぼのとした感慨にひたりました。また師匠が長谷川一夫という事で、厳しく鍛えられたの話は興味深々でした。（玄関での靴の脱ぎ方、仏前での座布団の扱い等、はっとするものが有りました）

久しぶりに、林与一の名前が身近に感じた講演会でした。感謝。



区民まつり

ボランティア委員会

10月22日緑区区民まつりが開催されました。区民まつりはみどり・シティ・フェスティバル2022と銘打って大高緑地で沢山（33）のブースやステージが活動しました。緑鯨城会はメルヘン広場に生涯現役コーナーのブース名でひとテントをいただき、プラバン（プラ板）でキーホルダーをつくるコーナーとしました。3年振りのイベントなので大変に喜ばれ、始り時間の10時には列ができ、最盛期には10人ほど待つ時間帯もあり、昼食も食べれない状況になりました。鯨城会の会員のサポートにより、子供達はプラスチックの板に油性マジックやペンで好みの絵や字を書き、それをトースターに入れて熱を加えるとプラスチックは4分の1から5分の1に縮み、キーホルダーになります。子供たちはトースターの中で縮む模様を目の当たりにし、感動の声を上げますそれにストラップを取り付けたら完成です。子供と父兄の「ありがとう」の言葉はこちらがお役に立てた感動で言いたい言葉でした。3時の終了時間は30分のびてしまいました。246個のプラバンが作られました。「来年も来るね」の言葉が嬉しい1日でした。



10月26日(水)第21回鯨城会グラウンドゴルフ交歓会がありました。

緑鯨城会からは6名の出場でした。

場所：庄内緑地公園陸上競技場、時間：10時30分から15時。競技はA、B、C、Dの4ブロックに分かれ午前1ラウンド、午後1ラウンドの個人戦で行われました。天気は雲ひとつなく快晴。開会式の後、4ブロック一斉スタートです。300名あまりの競技者がグラウンドで楽しんでいるさまは平和そのものです。コロナ前と違うことは競技が個人戦それに感染対策のマスク着用です。天気が良いので競技者は熱中症対策も万端にされていました。競技者からは個人戦より団体戦の方が盛り上がるという意見がありました。表彰式の帰り道は笑顔、疲れ顔、満足顔それぞれでした。



堀川清掃大作戦

右高 茂夫 (31期 園芸)

11月5日(日)、3年ぶりに鯨城会堀川大作戦が実施された。宮の渡し公園に50数名が参加し3班に分かれて清掃を行いました。緑鯨城会は11名と鯨城学園在校生10名で宮の渡しから中京病院西まで約5KMのコースでした。

この日は晴天で絶好の清掃日和だった。道路上ではゴミが少なかったが、各自三々五々往復1時間、ゴミを拾いながら歩きました。ゴミは少なかったが通りすがりの人が「ご苦労さん」と声をいただき気持ちがホットしました。



地域ミーティング

広報委員長 廣瀬 義忠 (32期 文化A)

11月18日(金)9時30分から11時まで鯉城学園第2講義室において37期生(1年生)の地域ミーティングに緑鯉城会会長高野孝はじめ5名が出席しました。

緑鯉城会の担当は37期生音楽Bのクラスで従来の各区の学生とミーティングする方式ではありませんでした。学生の出席者は41名(5名欠席)で、緑区の学生は4名(欠席1名)でした。会長から鯉城会の概要や設立から今日までの歩み、緑鯉城会の概要を説明しました。

続いて各委員長からは今年度の活動内容を例にして具体的に説明しました。説明しながら学生を見ていましたが居眠りしてる人は見当たりませんでした。

次は緑社協事務局次長榎田宗宜様から緑区社会福祉協議会の事業概要の説明がありました。

前向きな内容の質問が2、3あり嬉しく思いました。



16区フェスティバル

行事委員会

11月17日(木)16区フェスティバルが東区スポーツセンターであり、緑鯉城会からは19名が参加しました。

競技種目は午前中に①負けるが勝ちジャンケンポン②カニサン横歩きボール運び午後③輪投げ④玉入れの4種目でした。参加人数の不足する区は競技に何回でも出場できるルールです。和気あいあいとした雰囲気の中、競技もスムーズに進み、けが人もなく無事終了しました。アトラクションは有志による盆踊り(炭坑節、なごや囃子、郡上節)で各区の皆さんが輪になって笑顔でした。

優勝は熱田区、中川区、千種区の3区で、緑区は5位(港区、西区、北区、名東区も同様)と健闘しました。緩い競技ですので来年も奮って参加して下さい。



半年位前に本屋さんで俳句雑誌の立ち読みをしていた時、ふと目に留まりましたのが、「滑稽俳句」というコラムでした。そして、投稿欄もあり、ユーモアと人生ちょっと斜めから見ると感じる俳句でした。その頃、ちょうど吟行もままならず、俳句の「ネタ」に困っていました。滑稽とはなにかは別にして、もともと俳句が諧謔性のあるものから出発しているので、自分にも出来るかなと思い、2、3作句してみました。



<*ゴーツーで訪ねてみたき冬銀河>

その時期、旅行支援策とし「ゴーツーラベル」が実施されて全国旅行割が盛んでした。これは全くの空想で、海外にも行けないのなら、いっそ空の月とか銀河に旅行してみたいと思ったのでした。季節は冬で、季語は「冬銀河」です。寒天に冴え冴えとかかる冬銀河から澄み切った地球を逆に眺めたらなんと素晴らしいことだろう。

<*扇の出番話題の途切れたるときが>

扇は扇子のことですが、暑いときふわふわと使います。最近では落語家とか踊りの女師匠にしか見なくなりましたが、なかなか風情のあるものです。その様子を句にしたのでは、月並みになりますので、思いついたのが、落語家の扇子の使い方です。話の間を取る時、ぱちんと扇を閉じたり開いたりしています。そのことが私たちの話題が途切れた時と同じで、扇の出番となり、間合いを埋めてくれるのです。涼をとるところから少しひねって詠ってみました。

多分、川柳と俳句の境界線に位置するのかもしれませんが。ただ俳句は、季語を入れなければいけません（無季句もありますが）川柳は多くの場合、季語は必要ない違いがあります。

「滑稽俳句」が俳句の中である位置を占めていくかどうかはわかりませんが、老いの私には、時間つぶしとか社会性のある句を詠むとき、リラックスできる分野です。

しかしながら、やはり俳句で私の好きな分野は、生活句です。家族との日々、母との繋がり、妻との関わり、そして自分と自然との思いなどが素材です。

吟行の少ない今、原体験を詠えるからでしょうか。

<*吾もまた羽搏く思ひ鷹柱>

季語は「鷹柱」で秋。「鷹渡る」の傍題ですが、秋に鷹（特に刺羽の種類）が集まって一斉に飛び立っていく伊良湖岬での光景です。それはそれは何千羽の鷹が空に舞い上がっていく様子を柱に見たてているのです。実は、私の実家の山（里山と言ってもいいくらい小さな山ですが）がこの刺羽の保護区になっていて、毎年山で育った刺羽が羽搏く前に高枝にとまって悠然と揺れているのを見えています。そのような背景があるものですから、私もこの鷹のように空に向かって羽搏く思いを強くしたことを句にしました。

2023年1月より、緑ウォーキング同好会の代表を31期 上野英生さんが担当する事になりました。
阿部花井さま 長い間お世話になり、ありがとうございました。

2022年5月30日(月) 西高森山へ 11名参加



🌸少年自然の家の野外炊事場を通り、山頂を目指しました。歩行中は前後離れているのでマスクは外してのウォーキングで、心配していた雨の心配も無く快適なウォーキングでした。

2022年9月30日(金) 豊田市鞍ヶ池公園ウォーキング 12名参加



🍁心地よい秋空の下でウォーキングを楽しんだ後、トヨタ鞍ヶ池記念館を見学しました。

2022年10月30日(日) 焼き物のまちと虎溪山永保寺 12名参加



🍁木々が紅く色づき始めた永保寺を散策し高台にて多治見市内を展望しながらの弁当とコーヒータイム…最高のウォーキングでした。

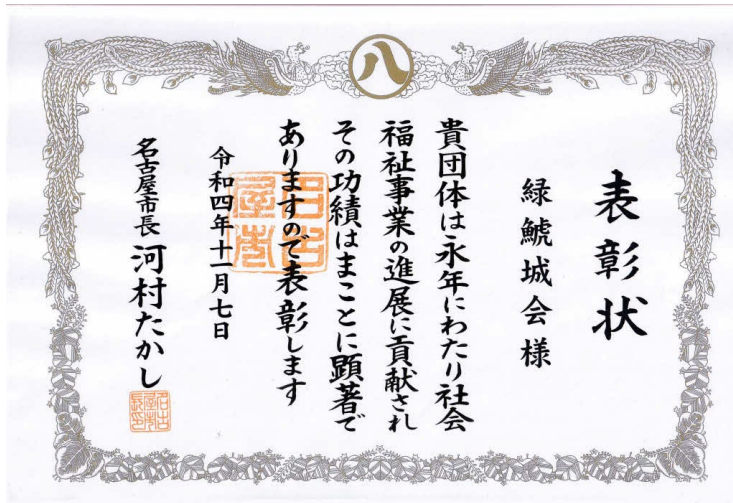
2023年(令和5年)来春のウォーキング案内 ※2023年からウォーキングの回数が増えました。

- 2023年 1月30日(月) 地下鉄妙音通駅改札口 9:00 集合～呼続の坂～長楽寺(帯刀屋敷)～
～笠寺観音～鶴里駅 6km (弁当持参・敷物)
- 2023年 2月28日(火) 地下鉄桜本町駅改札口 9:00 集合～笠寺一里塚～笠寺観音～
～桜本町駅 7km (弁当持参・敷物)
- 2023年 3月30日(木) 鶴舞線上小田井駅1・2番ホーム 9:00 集合 一犬山一名鉄広見線 可児川駅～
～カタクリ口～鳩吹山散策～可児川駅 14:50 発一犬山一上小田井駅 15:40 着
(名鉄往復 1,360円) [難易度 1.5] 5km (弁当持参・敷物)

毎回の
注意事項

服装・持物 : 動きやすい服装・帽子・リュック・手袋・飲み物・雨具・敷物・(*弁当) 等
前日の天気予報で9時～15時までの降水確率が40%以上は中止です！

表彰状を頂きました



令和4年 11月7日

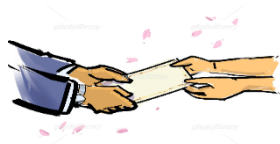
名古屋市公館にて名古屋市長より

第59回民間福祉功労者として「表彰状」

頂きました。本年の表彰者

「市長表彰」 個人10名 3団体

「市長感謝」 個人98名 5団体



編集後記

天災とも言えるコロナ禍の三年間、生活様式が変化しつつあると感じるのは私だけでしょうか。リモートワーク、オンライン会議とオンライン授業が現役世代では当たり前となってきました。取り残された老境の私達は嫌でもスマートフォンやパソコンを使うことができるある程度の知識を身につけないと、極端ですが生きて行けなくなるような気がしています。仲間たちと語り合い、協力しあいながら前向きに過ごしていきたいと思います。寄稿にご協力いただきました皆様ありがとうございました。

訃報

20期原 拓善様が令和4年 11月21日に 逝去されました(享年81)ここに謹んでお悔み申し上げます なおご本人の意思によりすでに近親者のみで家族葬にて葬送されております

広報委員会

32期 廣瀬 義忠 090-7611-6755 bibi@carrot.ocn.ne.jp

33期 亀井 恒夫 070-4377-1465 k_thskt7571@qc.commufa.jp

31期 奥野 幸泰 090-6093-0183 yukiAR1105@outlook.jp

25期 水谷 健二 090-2617-4782 nwjh2gla@gmail.com

29期 熊田 八郎 090-9918-9034 hkuma383@jasmine.ocn.ne.jp

* 25期水谷さん・29期熊田さんは、広報サポーターとして参加をお願いしております。

緑 鯨 城 会 オ リ ジ ナ ル ホ ー ム ペ ー ジ



<https://midori-kojyo1989.jimdofree.com>

スマホ・タブレット・パソコンから閲覧(QRコード&URLからアクセス)